記載例　関係）

奨　学　生　願　書

（ふりがな）	かみす　たろう	性別	生年月日
奨学生申込者氏名	神栖　太郎	男・女	平成〇年　〇　月　〇生
申　込　者　住　所	神栖市波崎６５３０番地　　電話　０４７９－４４－〇〇〇〇		
在　学　校　名	神栖市立神栖〇〇中学校　　第　３　学年		
希望する奨学資金 ※飯田奨学金貸与	給与　・　貸与 ※　希望	希望する期間	９年　４月から　１２年　３月まで
進学志望校	茨城県立　〇〇	高等学校・高等専門学校　　科 専門専修学校　　科 大学　　学部　　科	
奨学資金希望理由 （経済状況など）	希望する理由を詳しく記載してください。 （選考時の判断基準になります。）		

主たる家計支持者には〇印を記入すること。

家族の状況	続柄	氏　名	年齢	勤務先又は学校名	年　収	家計の状況
	母	〇 神栖　花子	44歳	〇〇　株式会社	2,000,000円	同居・別居
	本人	太郎	15歳	神栖市立神栖〇〇中学校	円	同居・別居
	妹	春花	12歳	神栖市立〇〇小学校	円	同居・別居
			歳		円	同居・別居
			歳		円	同居・別居
			歳		円	同居・別居
	合計	３人				

特別控除						
	身障者のいる世帯	※	× 千円	長期療養者のいる世帯	※	× 千円
	災害罹災世帯		千円			

１ヵ月分の学校の費用を算出して記入。

月平均所要経費	収入の内訳		支出の内訳			
	家庭から	円	食費	円	授業料	円
	内職・定職から	23,000円	住居費	円	学校納付金	10,000円
	（　　）から	円	交通費	10,000円	その他	円
	計	23,000円	学用品費	10,000円	計	30,000円

神栖市教育委員会教育長　様

奨学金月額7,000円を加算し、支出計と合うこと。

令和８年　１２月　〇〇日

以上のとおり記載に相違ありません。

奨学生として採用の上、奨学資金を貸与（給与）されるようお願いいたします。

なお、採用の上は神栖市奨学資金条例、神栖市奨学資金条例施行規則及びその他法令の規定に従い、奨学生としての責務を果たすことはもとより、奨学資金の返還（貸与の場合）及び[illegible]いても、誠実に履行することを誓約いたします。

連帯保証人は奨学生の債務を連帯して負担し、保証人は奨学生の債務を[illegible]

印鑑は別々のものを使用すること。

奨学生申込者　　氏名　**神栖　太郎**　印
現住所　**神栖市波崎６５３０番地**

家計支持者（給与の場合記入）　　氏名　**神栖　花子**　印
現住所　**神栖市波崎６５３０番地**

連帯保証人兼法定代理人（貸与の場合記入）
（奨学生が成年者又は既婚者のときは連帯保証人）

法定代理人（貸与の場合記入）
（奨学生が成年者又は既婚者のときは記入不要）

保証人（貸与の場合記入）

連帯保証人・法定代理人・保証人は、大学生奨学金用のため、記入しないこと。

（注意事項）

1　署名は自署とすること。
2　奨学資金希望理由は具体的に、詳しく記入すること。
3　※印のところは、該当のものに〇、×印のところは記入しないこと。
4　家族の状況のうち、家計支持者には氏名の前に〇を付けること。
5　支出の内訳のうち、自宅通学者は食費、住居費は記入しないこと。
6　所得は家族全員の収入を記入し、父母又は家計支持者の前年の所得を証明する書類を添付すること。
7　連帯保証人は、奨学生が未成年者かつ未婚者であるときは法定代理人とし、また連帯保証人及び保証人は、神栖市内に居住し、独立の生計を営む成年者（連帯保証人の場合は父母兄弟姉妹）で将来奨学資金返還の責任を負い得る者であること。
8　父母が法定代理人の場合は両者の氏名を記入すること。